

創立90周年に向けて 新たなジャンプの年に

大阪経済大学の学長として3期目を迎える徳永光俊氏となりました。2010年11月の初就任から2期6年を務めた成果を踏まえ、教職員の皆様のご協力を得て今後も重責を果たしていきたいと決意を新たにしています。

3期目というのは、三段跳びでいえば、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の「ジャンプ」にあたります。ホップ・ステップの6年間は、教育内容充実などの地固めに注力し、学生たちの学力や活動力は着実に伸びてきました。そして3期目のジャンプにより、学生たちをさらに大きく飛躍させたいと考えています。

私は学長に就任後、一貫して「ゼミの大経大・マナーの大経大・就職の大経大」を主張し続けてきました。教育ではゼミに重点を置き、その成果発表の機

会であるゼミミーティングは今年で7回目を迎えました。また、最近では学外コンテストや、企業・官公庁などと連携した地方創生プロジェクトや商品開発などにチャレンジするなど、ゼミ単位の活動が多様化し、やや内向きだった学生たちに変化の兆しが見られます。

マナーに関しても、まわりの人や大学、地域などを意識して行動する社会性が少しずつ身につけてきていると感じます。最近では準硬式・硬式野球部やラグビー部などの体育会クラブが出場する重要試合などに、チャリダー部や吹奏楽総部といった芸術系の部員が駆けつけ、大学全体が一致団結して応援する傾向をうれしく思っています。

就職に関しても、進路支援センターとゼミ担当教員の緊密な

連携と指導により、就職率がリーマンショック以前の90%近い水準にまで戻ってきています。今、時代や社会状況は大きく転換しつつあります。これからの日本や世界で生き抜くには、学力や技能だけでなく、「自らが解を見いだす力」、「多様な人たちと協働する力」が求められます。そのため、創立90周年・100周年に向けて、建学の精神である「自由と融和」を21世紀的に発展させる必要があると感じています。新たな社会構想が模索されている時代における「自由」とは「多様性の尊重」、「融和」とは「共存共栄」だと私は考えます。また本学が掲げる教育理念「人間的実学」においても、今後は「人間的」という部分にウェイトを置き、実学に加え「リベラルアーツ(教養/全学

共通教育)」を重視していき。全学的な再編に関しては、2022年(創立90周年)に向けて、法学系の学部新設を検討していきます。本学が「人文社会系の総合大学」をめざすうえで、法学系の学部の新設は欠かせません。またグローバル＆ローカルの政策立案能力の育成も今後の教育には必須で、政策系学部の開設も必要です。さらに、時代の潮流であるメディアの多様化・心理や健康スポーツの隆盛などを踏まえた学部再編をすすめる予定です。

再編と連動した定員増も実施していきますが、現在、本学の収容定員は6380名、実員は7730名で、定員・実員比率は1・21倍です。文科省の進める都市部大学の定員・実員比率抑制の方針も考慮し、最大1学年

2000名まで、全体で8000名弱の「都市型中規模大学」として今後も歩んでいくべきだと考えます。

最近、私は「大経大プロジェクト・シヨナル」という言葉をよく使っています。学生たちの学力・実力が見違えるほど上がり、大学全体の雰囲気も変化してきています。「経済・経営系の私立大学No.1」をめざし、学生たちが「プロになる」、一流になる」と頑張れるような大阪経済大学の学風を培っていきたい。

今後も各学部教員の皆様の意見を尊重しながら強い信頼関係を醸成し、第5次中期計画の策定などに関して理事会と緊密に協力し、迅速な改革を進めていきます。教職員の皆様はじめ関係各位の、更なるご支援とご尽力をお願いいたします。

大阪経済大学 学長
徳永光俊

主な記事

contents

- (1面) 学長就任・学長からのメッセージ
- (2面) 大学院紹介
- (3面) 大樟会だより
- (4面) 3世代女性活躍プロジェクト
- (5面) 17歳からのメッセージ、FD通信
- (6・7面) 広報隊 学生編集ページ
- (8面) 関西産業観光博覧会、
「なんかももこい」まち東淀川 他
- (9面) DAIKEDAI PRIDE STUDENTS
- (10面) DAIKEDAI PRIDE CULTURE
- (11・12面) DAIKEDAI PRIDE SPORTS

卒業式・学位授与式のご案内

2016年度大阪経済大学 卒業式・学位授与式を下記のとおり挙行いたします

午前の部		午後の部	
対象学部：経済学部、人間科学部、 大学院経済学研究科、 大学院人間科学研究科		対象学部：経営学部、情報社会学部、 大学院経営学研究科、 大学院経営情報研究科	
場 所	70周年記念館フレアホール	場 所	70周年記念館フレアホール
日 時	2017年3月18日(土) 10:00～(入場は9:30～)	日 時	2017年3月18日(土) 13:00～(入場は12:30～)

お問い合わせ 大阪経済大学 総務部総務課 (06) 6328-2431(代)

- 学生・保護者の方の駐車場がありません。車でのご来場はご遠慮ください。
- 収容人数の関係で、保護者の方は式場内へお入りいただけないこともあります。あらかじめご了承ください。なお、同館3階の教室において、式典の模様を同時放映いたします。

2017年度

教育懇談会 のお知らせ

右記の日程を予定しております。

大阪	6.17(国) 受付 9:30～ ▶大阪経済大学
岡山	6.24(国) 受付 10:00～ ▶岡山プラザホテル
高松	6.25(回) 受付 10:00～ ▶JRホテルクレメント高松
京都	7. 1(国) 受付 10:00～ ▶未定
米子	7. 8(国) 受付 10:00～ ▶国際ファミリープラザ
和歌山	7. 9(回) 受付 10:00～ ▶ホテルグランヴィア和歌山

経済学研究科／博士前期課程・博士後期課程 大隅キャンパス

ベーシックコースを開設し、幅広い人材の学ぶ意欲を支援する



経済学研究科長
小川 雅弘教授

経済学研究科は、博士前期課程を2016年より、従来の4コース制から3コース制に改変し、経済学研

究の長い伝統に裏打ちされた「研究者養成コース」、優秀な税理士を輩出し続けている「税理士養成コース」

のほかに、三本目の柱として「ベーシックコース」を新設しました。ベーシックコースは、経済学の基本から本気で学びたい社会人や学生を全面的に支援するための取り組みで、想定される具体的な学習目的は、公務員をめざす方の試験準備企業や行政で活躍する方々の再学習、能力向上などです。

コース再編にあたり、経済学研究科では入試方法の見直しを行いました。研究者養成、税理士養成の各コースでは、入試範囲を公表するほか、出願前に指導希

望教員と事前面談を行い、入学後のミスマッチの解消に努めています。ベーシックコースの入試では、専門知識を要求せず、研究に必要な基本的な文章を読み、書く能力を問うという方式を採用しています。経済的、時間的制約がある中で大学院に来る人々に、最適な指導教員の元で最大限実力を発揮してもらいたいと考えています。

経済学研究科にはさまざまな領域の研究者が在籍しており、地域の商工会議所なども強固なネットワークがあります。学ぶ中で仕事にどうつなげるかという知識を得るだけでなく、興味関心の幅を広げ、将来を見据える力を養ってほしいと思います。

経営学研究科は税理士養成プログラムである税法務研究のほか、ビジネスに関する実践的な研究に力を入

れています。入学者の研究動機は「自社の経営のあり方を客観的に見つめ直してみたい」「自分が抱えている

経営上の課題の解決法を探りたい」など様々です。研究発表や質疑応答には、経営トップから新人まで広範な層書きをもった社会人、海外からの留学生も加わり、フラットな立場で議論に熱中します。学生の皆さんは、普段組織内で抱えている自分の課題を、仲間と話し合うことで客観的に見つめ、新たな方策を探っていくことができます。我々も積極的に疑問を投げかけ、共に問題解決の道筋を考えていきます。

学生の中には中小企業のトップや、そこで働く組織人が多いのも、本研究科の

特徴です。関西の中小企業を元気にすることは大阪経済大学の使命。仲間とともに研究に励み、大企業にない発想力、イノベーション力、独自性を大いに伸ばしてほしいです。強い中小企業をめざしてがんばる学生に対し、教員たちは専門家として惜しみないサポートを行っています。



経営学研究科長
井形 浩治教授

知識・理論を味方につけ、現場で生かせる学びを磨く

経営学研究科／修士課程 大隅キャンパス・北浜キャンパス

大隅、北浜キャンパスが学びのステージ!

人生を、ビジネスを、もっと豊かにするために

社会人のニーズに応える多彩なアプローチ

大
学
院
紹
介

経営情報研究科／修士課程 大隅キャンパス・北浜キャンパス

データ処理の力を伸ばし、問題解決能力を高める



経営情報研究科長補佐
杉田 武志教授

経営情報研究科は、経営学、情報科学系の科目を中心に多様な科目を開設しています。科目は学生のニーズ

ズに応じて「企業財務分野について深め税理士をめざす人を支援する」、「ビジネスシーンに必要とされるデ

ータ解析力やICT系スキルを伸ばす」、「データ解析、事象の分析を通じて意思決定、企画立案、マーケティング能力を伸ばす」という3種に分類されますが、いずれも課題を解決するための情報処理能力を鍛えることを主眼としています。

特に社会人の方には、仕事とは別に「机上で考え抜く力」を養うトレーニングで、目の前にある問題の本質を見つけてほしい。それは、ぶれない意見をもつための強い味方になるはずなんです。特に中小企業の方々にと

っては、経営情報研究科での学びがプラスになると考えられます。専門性の高い理論に触れ、研究仲間と議論することで得られる生きた知見は、社員それぞれが柔軟な発想をもって知恵を出し合い、全体最適を進めていくことが求められる中小企業のような環境で、大いに役立つと思います。

- ※1 外国人留学生入試は期間内必着、それ以外の入試は締切日消印有効。
※2 税法ゼミ希望者は2日間とも受験してください。税法ゼミ希望者以外は春季：2月18日(土)のみです。

人間科学研究科の「臨床心理士」を養成している心理学専攻は、人々の心、本心は公益財団法人の悩みに寄り添い、さまざまな日本臨床心理士資格認定協

会・第一種指定大学院であるため、院生は課程修了と同時に臨床心理士の受験資格を得ることができます。

カリキュラムの大きな特徴は、豊富な臨床実習です。研究科付属の「心理臨床センター」では、実際に地域の一般市民の方のご相談を受けます。

当センターが最も力を入れているプログラムは「発達相談サービス」で、発達障害や不登校などを含む、子どもと家族のための短期カウンセリングやアセスメントを行っています。他にも多様なクライアントが多く来談されており、院生は

在学中に一人平均4〜5名を担当するなど、内部実習の充実度は国内トップクラス。外部実習では週に一回のペースで、教育臨床・病院臨床・福祉臨床の3領域を体験できます。臨床心理士の仕事の範囲は多領域にわたり、幅広い分野の臨床を学ぶことで、自身の適性や将来の進路を見極められます。



人間科学研究科長補佐
鵜飼 奈津子教授

人間を深く見つめる2専攻

臨床心理士の資格取得にも対応

人間科学研究科／修士課程 大隅キャンパス

また、大学の卒業生やそのご家族からのご相談も受けつけております。お気軽にご相談いただければと思います。

2017年度
大学院入試日程
(春季試験)

- 出願期間 全研究科共通…2017年1月10日(火)～18日(水)※1
●試験日 経済学研究科…2017年2月19日(日)
経営学研究科…2017年2月18日(土)、19日(日)※2
●合格者発表 全研究科共通…2017年2月28日(火)

経営情報研究科…2017年2月19日(日)
人間科学研究科…2017年2月19日(日)

大樟会だより

来たる90周年、 100周年に向け 力強く歩む



2016ホームカミングデー・大樟会総会、華々しく開催



吹奏楽総部の演奏が行われる中、多くの同窓生らが続々と会場に集まり、午前11時から小林真人副会長の司会によって総会が始まった。

大樟会設立100周年に向け、 100支部を目指す

平成28年10月30日(日)、大樟祭で賑わう母校キャンパスで、ホームカミングデー・大樟会総会が盛大に開催された。まず、大樟会総会セレモニーがD館21教室で開催。式辞、感謝状贈呈、壮行会が実施され、全国各地から約540人の同窓生らが参加し、会場は熱気に包まれた。次に、会場を学生会館2階に移し、ホームカミングデー懇親会が行われた後、今年初の試みとして、同期会・部会合同交流会がD館80周年記念ホールにて行われ、180名が参加し、快晴の街を眼下に望む会場で、参加者が和やかに旧交を温めた。



めた。

徳永光俊学長は3期目就任の挨拶に続き、4年連続の入試志願者増加や、就職希望者の就職率が90%近くに及んだこと、ゼミ活動などが学外で高く評価されている旨を報告。この6年間、一貫して「ゼミ・マナー・就職の大経大」を推進。3期目は、新学部・学科の創設など全学的な組織再編を進め、都市型の中規模大学として、人文社会系の総合大学を目指したい」と述べたうえで、「2032年の100周年に向け、つなぐ力No.1」を強化し、①学生目線のきめ細かい教育、②教職員の高水準の質、③人間的な成長を尊重したい」と強く力を込めた。



挨拶をする田村会長

総会開会に先立ち、物故者への黙祷が行われ、次いでグリークラブと参加者による学歌斉唱後、佐藤武司理事長が式辞を述べた。理事長は、まず徳永光俊学長の3期目就任を報告し、次に少子化問題に触れて「小中学校・高校はおおむね整理がなされ、大学の淘汰が始まっている。本学も90周年、100周年に向け、伝統だけに頼らず、経営と教育を両立させた魅力ある大学づくりに取り組みんでいきたい」とし、同窓生らの支援と助言を求めた。

同期会・部会合同交流会を実施し 和やかな雰囲気にも包まれる

「ゼミ・マナー・就職の大経大」を推進。3期目は、新学部・学科の創設など全学的な組織再編を進め、都市型の中規模大学として、人文社会系の総合大学を目指したい」と述べたうえで、「2032年の100周年に向け、つなぐ力No.1」を強化し、①学生目線のきめ細かい教育、②教職員の高水準の質、③人間的な成長を尊重したい」と強く力を込めた。

の組織化、②母校の応援③ステークホルダーとしての役割で、最も基本となるのが①の強化だ。昨年80周年を迎えた大樟会は、約60の支部・部会を数えるが、100周年には100支部・部会としたい。この一年間に、鳥取支部が再興し、超党派の政治家地方議員・首長等による『樟政会』が誕生した。現役学生の保護者でつくる後援会と手を携え、今後も大学を支援したい」と呼びかけた。

た。

このあと、永年にわたって支部長を務めた藤本二郎氏が代表して謝意を述べられた。さらに今年は、大学クラブ等の壮行会も行われ



壮行会

た。全国大会に臨むハンドボール部全日本学生ハンドボール選手権大会出場、グリークラブOBと在学中で構成する「大阪メルクワイアー」(全日本合唱コンクール全国大会出場)のメンバーが入場した。全日本大学駅伝対校選手権大会出場の際に競技部選手らは、11月6日の本番に向け、現地で試走のため欠席だったが、これらのクラブ等の活躍を田村会長が紹介し、健闘を祈り会場全員が拍手を送った。また、山本隆造大樟会会長が激励の言葉を贈り、各クラブ等の監督らが大会に向けての決意表明を行った。

続いて、福田敏裕元応援団副団長が演奏で応援し、吹奏楽総部の演奏をバックに各クラブ等のメンバーが退場。セレモニーは、つつがなく終了した。

感謝状を受けられた6氏

- | | |
|-----------|--------------|
| ・前 池田支部長 | 中 一正様 |
| ・前 滋賀支部長 | 橋本 庫一様(ご欠席) |
| ・前 北大阪支部長 | 平田 義行様(代理受領) |
| ・前 東京支部長 | 藤本 二郎様 |
| ・前 淡路島支部長 | 竹内 通弘様(ご欠席) |
| ・前 津山支部長 | 竹本 巧様(代理受領) |



卒業50年を迎えた32期生同期会



みんなで記念撮影



新しく結成された女性部会の皆さん

会長が「同窓会の方をつなげていきましよう」と述べて万歳三唱。中締めとして、崎田洋一事務局長が「少子化の中、大学が生き残るためには、強さと賢さ、そして人を思いやる温かい心が不可欠。この3つを携えて未来へ邁進したい」と述べて支援と協力を求め、懇親会は幕を閉じた。さらにその後、今回初めての試みとして、会場をD館80周年記念ホールへ移し、14時から同期会・部会合同交流会が開かれた。この交流会は、生が集い盛り上がった。賑やかな歓談のうちに時間が過ぎ、来年の再会を誓い合いながら幕を閉じた。



大経大発! 日本初?
女性が経済を動かす

3世代
女性活躍
プロジェクト

世代を超えて 経済活性化に 取り組む

女性ならではの視点と発想で企業の課題解決に本気で取り組む「3世代女性活躍プロジェクト」の最終報告会(公開コンペティション)が、10月20日(木)午後5時30分から、プロジェクト参加企業・株式会社オカムラ(大阪生野区)の2階会議室で行われた。

2名の計11名が、日本で未だあまり普及していないデンタルフロスの商品企画に取り組んだ。

商品化に向け 綿密に調査

オカムラは、オーラルケア製品を製造販売する100年企業。本学の現役女子学生5名と、大商学園高等学校豊中市の女子高生4名、本学OG

6月以降、メンバーはA・Bチームに分かれ、何度もミーティングや調査を重ね、7月8日(金)にはDESIGN TOKYOのオカムラのブースに各チームのリーダーが参加し、来場者に商品説明、案内役を務めた。そして、9月2日(金)の「中間報告会」において

いよいよ最終報告

冒頭で専務取締役・岡村謙太郎氏が「皆さんの一生懸命さを肌で感じていた。今日発表されるアイデアが非常に楽しみです」と挨拶。続いて本学広報委員長の梅原英治教授が「定着していない商品の市場開拓は難しいが、逆に考えれば可能性のある分野。皆さんの努力が報われるよう頑張ってください」と激励。

発表では、まずAチームが口臭やホワイトニングに着目した商品アイデアを、続くBチームは、ファミリー層を



露、質疑応答に続く審査の結果、Aチームの商品アイデアについて今後、商品化に向けた検討が進められることになった。岡村氏は惜しくも商品化を逃したBチームのアイデアを一定評価しながら、「Aチームのアイデアは実現可能」と高く評価。歓声を上げて喜ぶAチームに旅行券の目録が手渡された。

最後に、Aチームリーダー、増田麻央さん(人間科学部3年)は「3世代のメンバーの時間を合わせるのが難しかったが、リーダーとして活動するなかで、みんなで協力してひとつのものを創り上げることの大切さを学んだ。Bチームリーダー、岩倉菜々さん(経営学部3年)は「新しいものを考え

対象としたダイエット用・禁煙用・受験勉強用などの商品アイデアを、何度も練習を重ねたプレゼンテーションで披

る厳しい批評を受けて、アイデアを懸命にブラッシュアップ。商品化されるか否かが決する最終報告会を迎えた。

ZEMEE1での 報告でも好評

このプロジェクトを締めくくる最終成果報告会は、10月29日(土)に行われた第7回ZEMEE1グランプリ「Finaleステージ」の審査結果待ちの時間を使って行った。審査員の皆様にも好評を得、学長からも「ZEMEE1の積み重ねによる新しい取り組み、カタチである」とメッセージをいただいた。店頭で3世代女性が考案した商品が並ぶことを楽しみにしたい。





後藤健治さん

副学長 海野悦治さん

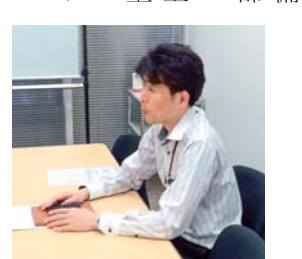
就職課長 & 進路資格支援課 インターンシップ課長に聞く 就活は私たちににおまかせ！

今回は学生の将来を支えている進路・資格支援課は資格取得を考えた格支援課長とインターンシップ課を兼任されている後藤さんと就職課長である試験の申し込みだけではない、試験対策講座や資格の説明、学生にわかりやすいように看板を立てて配慮しているインターンシップ課は学生のイン

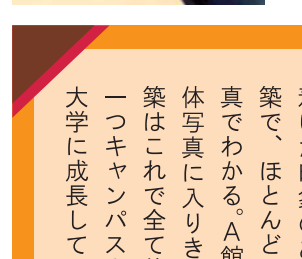
お二人は共通してこの仕事のやりがいは、学生の成長を身近に見られることと話された。「資格が取れた」「内定がもらえた」この報告や、相談にきてくれるのが嬉しい。また、指導の際は学生に対して、甘やかすだけでなく、時には厳しく、いい部分を伸ばしている。認知はされていてもなかなか利用しにくいと言われるこの3つの課。これを機会に利用してほしいと思う。

最後に二人から、学生生活に計画的にステップアップしてほしいと後藤さん、せっかく進路支援センターがあるのだから、上手に活用してほしい。また、利用していない人は1回相談にきてほしいと海野さんが語った。

「備品管理のスペシャリスト」



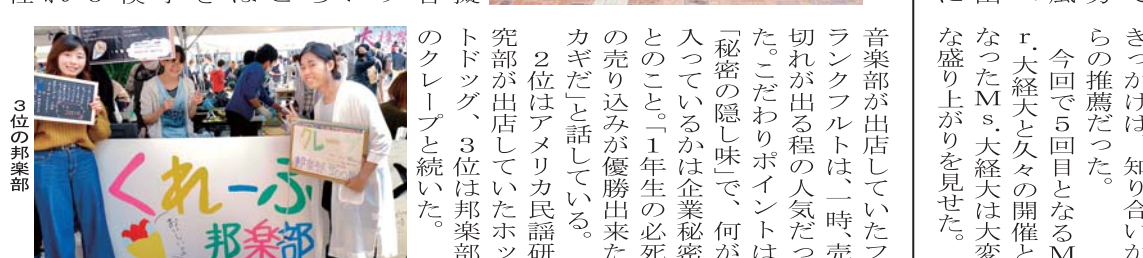
大学には様々な部署がある。しかしながら、学生にはあまり知られていない、縁の下力持ちの部署があるのだ。それは「管財課」。今回は管財課長の加藤友昭さんにお話を伺った。



管財課とは、大学の備品等を管理している部署。例えば教室の椅子、パソコン、黒板消しに至るまで大学の備品を全て管理している。また、北浜のサテライトキャンパスも管理している。



勝利でやっふー！



第7回となるZEMI-1グランプリの1stステージが10月22日(土)に開催された。Zemi-1はその一歩が自分を変えることをテーマに24ゼミ、64チームによるプレゼンテーション大会が行われた。予選は6ブロックに分かれ、各ブロックの1位チームがFinaisステージへ、2位・3位チームは29日(土)の2ndステージへとコマを進めた。

10月29日(土)午前、予選から勝ち上がった12チームが2つのブロックに分かれ、Finaisステージに進出に向けて2つの椅子を争った。午後からは、1stステージ1位通過チームと2ndステージから勝ち上がった上位2チームを含めた8チームでFinaisステージが行われた。上位5チームが西日本インカレに出場を決めた。

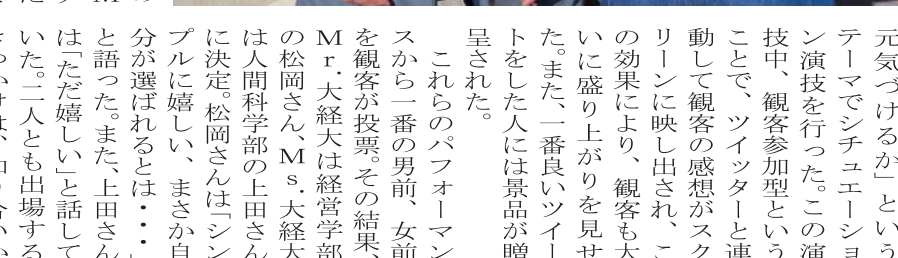
見事優勝を果たしたのは宮川敏治ゼミの「やっふー」。2位は中村健二ゼミ「健二の変」、3位は服部圭介ゼミ「チームハットリ君4回生」でハットリ君4回生であった。

優勝したチーム「やっふー」は、威光効果と同調効果を軸に価値を決めるのは何なのかを明らかにした研究を発表した。宮川先生からの教養「笑いは宝掴み」が大事だを待機児童問題などの解決策として新サービス「OK E」の提案。夏休みには泊泊3日のゼミ合宿を行い、朝8時から夜中まで徹夜して「自己効力感」を高める。3チームのほか、同性婚が認められる社会を目指す。指し婚届の改正を提案した藤澤ゼミ「チームガルボ」、人が最も後悔する状況について聴き手に感謝を与えた服部ゼミ「チームハットリ君4回生」は、11月27日(日)に開催される「西日本インカレ」予選への「西日本インカレ」決勝に出場する。

て案に磨きかけた。さうだ。優勝を逃した悔しさをバネに、西日本インカレでは優勝をめざす。

3位のチーム「チームハットリ君4回生」は、日米の学生を対象とした、RCT実験を用いた研究結果を通して「自己効力感」を高める。4年生の貫禄を見せつけ、審査員からのコメントはかなり高い評価であった。

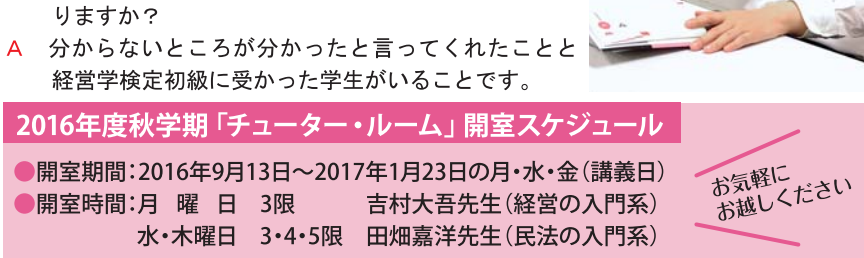
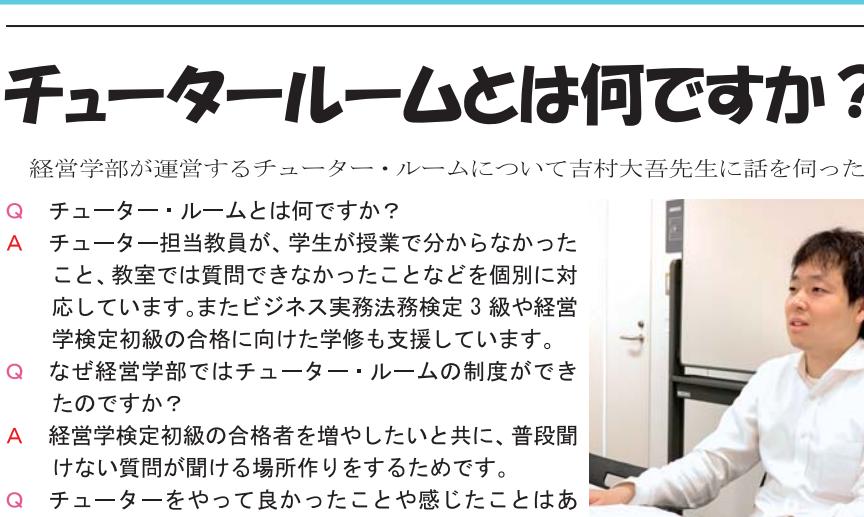
の向上がモチベーションに及ぼす影響を発表した。メンバーの一人は昨年米国に留学し、RCT実験を1年かけて行っていた。4年生の貫禄を見せつけ、審査員からのコメントはかなり高い評価であった。



広報隊発足

今年から学生広報隊が発足した。活動目的は、学生目線で大学の広報活動を行うもの。教育懇談会のキャンパスツアーや、つながるブログの運営、オープンキャンパスの取材など幅広く活動している。

6月18日(土)に行われた教育懇談会では、広報隊が保護者の方々に、学内の施設を案内する役を務めた。本学の歴史や学生生活をどのように送っているかを、一人一人違った視点で施設案内を行った。館内の案内では、実際に教室の中に入ってもらい、普段の学生と同じ雰囲気を感じてもらう。学生本人が思うところ、感じることを率直に話したことで、一歩深く大学について知ってもらえた。と語った。学生の「生の声」は、保護者の方々が「一番知りたい内容である」と思う。また、保護者の方々は学生生活を知る機会が少ないので今回



チューター・ルームとは何ですか？

経営学部が運営するチューター・ルームについて吉村大吾先生に話を伺った。

- Q チューター・ルームとは何ですか？
- A チューター担当教員が、学生が授業で分からなかったこと、教室では質問できなかったことなどを個別に対応しています。またビジネス実務法務検定3級や経営学検定初級の合格に向けた学修も支援しています。
- Q なぜ経営学部ではチューター・ルームの制度ができたのですか？
- A 経営学検定初級の合格者を増やしたいと共に、普段聞けない質問が聞ける場所作りをするためです。
- Q チューターをやった良かったことや感じたことはありますか？
- A 分からないところが分かったと言ってくれたことと経営学検定初級に受かった学生がいることです。

2016年度秋学期「チューター・ルーム」開室スケジュール

- 開室期間: 2016年9月13日～2017年1月23日の月・水・金(講義日)
- 開室時間: 月 曜日 3限 吉村大吾先生(経営の入門系)
- 水・木曜日 3・4・5限 田畑嘉洋先生(民法の入門系)

お気軽にお越しください

第68回大樟祭



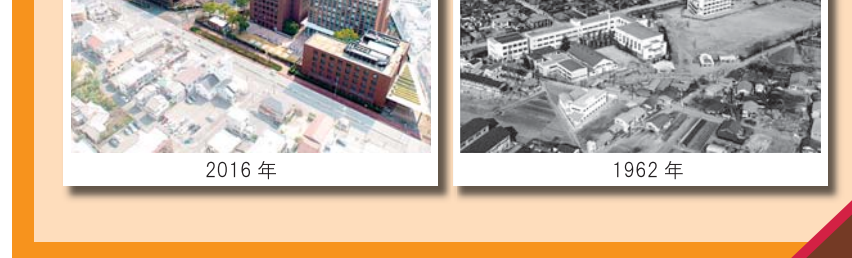
軽音楽部が「Mog-1」連続優勝



大経大今昔 その一

昔とは様変わりした大学の様子を紹介時代を追うごとに、変化していく大学の姿を懐かしさとともにご覧いただきたい。

第弾として、大学の全体像の航空写真を今と昔で比較。昔の写真は、大学の裏手には川が流れている。今の大学と違い、東西で分断している道路もない。校舎の外観も今は、レンガ調のモダンで落ち着いた印象のある校舎だ。幾度となく行われた改築で、ほとんどの校舎が昔の場所でないことも写真でわかる。A館に関しては、離れたため、全体写真に入りきることができなかった。校舎の増築はこれで全て終了したが、在学生としては、もう一つキャンパスを建てることのできるほどのメガ大学に成長してほしい。



◆なんかおもしろい、まち東淀川

歴史あり! にぎわいあり!

おもしろい東淀川 再発見

季刊郷土誌「大阪春秋」第164号の特集「なんかおもしろい」まち東淀川に、山本俊一郎ゼミの学生たちによる記事「学生が語る東淀川立地企業の魅力」が掲載。発刊を記念するイベント(東淀川区役所主催)が、11月15日(火)午後7時から、東淀川区役所3階市民ホールで開催された。



第1部では宗禅寺住職の西岡祖秀氏が、「宗禅寺と三宝寺 禅のはじまりは東淀川区にあり」のテーマで、禅宗の歴史や禅の理念などについて講演。第2部



は、パネルディスカッション「企業と学生が語る 東淀川立地企業の魅力」。特集記事に関わった山本ゼミの学生(16名)を代表し、谷口卓弥さん、萩原渉さん、松下哲也さんの3名と、特集で紹介された企業(7社)のうち3社の担当者が参加した。



冒頭、学生が企業の魅力を語る意義などについて「学生にとって、B to B企業などに関する知識が深まる、就職活動の幅が広がる、社会人と接し現場を知る、などのメリットがある」と説明。さらに「イノベーションを生み出すためには発想の転換が必要。若者がコラボすることで気づきや再認識が生まれる」と企業サイドのメリットを語った。

続いて学生たちが、担当した企業の沿革や業務内容、商品の特徴などを紹介。各企業の魅力



本学は、訪日外国人客の地方への誘客と消費拡大をめざす、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部、近畿経済産業局主催「関西産業観光博覧会」10月23日(日)～11月21日(月)に、大学で唯一、ブースを出展。さらに、本学の留学生中国・モンゴル・ベトナム・タイが10月23日(日)・11月6日(日)・12日(土)・19日(土)の4日間、全出展ブースの展示内容・方法について、外国人目線の評価活動を実施した。



2016年8月に本学中小企業・経営研究所は、中



やこだわりなどについても、調査や分析結果を報告。「設備が先進的で驚いた」「顧客との関わりを大切にしている」「品質を重視している」など、学生目線の率直な感想も披露した。

外国人観光客への取り組みを 同じ目線で分析調査

に伝わるのかを中心に調査した。

会場となったのは関西国際空港・第一ターミナル1・2階オープンスペースや駅コンコース・南広場で、出展したのは関西を中心とした自治体など31団体69ブース。評価活動初日の10月23日(日)には、経営学部の太田一樹教授と須佐淳司准教授の指導のもと、留学生12名、日本人学生3名の計15名が3つのグループに分かれて、出展ブースの担当者(日本語でインタビュー。最初は遠慮がちだった留学生たちも徐々に取材のコツ

をつかみ、提供されている特産品の試食や試飲などをしながら、熱心にメモを取る姿が見られた。

取材終了後、留学生たちは、担当した出展ブースについての感想や意見などを評価シートに丁寧に記入。

明や表記、接客などについての感想や意見などを評価シートに丁寧に記入。

キラッと光る一品 第2弾

マーケティング、販売、マネジメントを実体験

「こだわりのボトルシップ制作キット」を販売支援



今年から地方創生支援企画をスタートさせた江島由裕ゼミは、11月5日(土)、6日(日)の2日間東急ハンズ三宮店(神戸市)において、日本各地の隠れた「キラッと光る一品」の販売開拓、支援などを行う企画の第2弾として、静岡県メーカーが製造する「ボトルシップ制作キット」の店頭販売を実施。学生たちが授業で学んだ知識をもとに、自らの力で商品企画、販売にチャレンジした。

手作りの販売促進グッズを準備

ゼミ生たちは、日本で唯一の木造船模型メーカー「ウディジョー」と交渉し、販売の許諾を得る一方で、手作りのPOPや、ボトルシップの制作過程がわかるプロモーションビデオを制作。船を入れる酒瓶も手分けして集め、初心者でも気軽に始められるよう工夫した。さらに、神戸市海洋博物館ボトルシップ愛好会にも協力を依頼し、販売スペースに

展示するための作品を制作してもらった。リーダーの堀幸宜さん(3年)は、「酒瓶の中に精巧な帆船を組み立てるボトルシップは、限られた愛好家の間でしか知られていない。もっとボトルシップの魅力を広めたい」と、企画販売への意欲を語った。

多くの年代の人々に魅力を訴求

当日、ゼミ生たちは、展示された見事なボトルシップに見入る人々に作品のすばらしさや制作過程の奥深さなどをアピール。建元望花さん(3年)は、「ボトルシップは年配男性の趣味の世界だと思っていましたが、予想よりさまざまな年代の皆さま



さんが興味をもってくれます。小学生にも人気がありますね」と客層を分析していた。チームワークが功を奏し、2日間で目標を上回る15セットを販売することができた。

ビジネスの流れを身につけるために

「売り上げを多くあげることが目標ではない」とする江島教授は、この企画の意図を「商材発掘や販路開拓、在庫管理から顧客への対応まで、ビジネスの流れをしっかりと体験すること」と位置づける。さらに「ゼミでは自分たちで考え、行動することを大切にしています。失敗も経験するでしょうが、自分の力を信じてがんばってほしいですね」と学生たちにエールを送った。

弦間一雄
ゼミ

宇賀勇太さん(人間科学部3年生)

吉野忠男
ゼミ

黒瀬徳洋さん(経営学部第2部3年生)

吉野忠男
ゼミ

山本奈美さん(経営学部第2部3年生)

表現で社会を明るく

人稱の変化で表現した」などの講評を審査員からいただきました。

日本語は僕・俺、私など二人称が豊富で、以前から気になっていました。そのため最初は、一人称ばかりを並べた作品を創っていたのですが、整理し

「表現について勉強できると知ったからです。高校時代に、著名なコピーライターが手がけた広告を見て、コピーの持つ力に惹かれ、独学で少しずつ勉強してきました。ですから、今回の受賞



それをシンプルな表現で人々に届け、社会を明るくしたい。そのためにも今は、自身や作品をアピールするためのプレゼンテーション力を身につけたい

思います。

体験で得た視点を活かす

が記者として関わり、大学生目線の企画や記事の執筆に携わっています。

私は全く物怖じしないタイプで、常にいろいろなチャレンジをしたいと考えています。サクラナビの活動にも

「素晴らしい体験ができる」と思い、ためらうことなく参加しました。ゼミで企業研究をしていますが、就職活動が目前に迫っており、他の学生がしていない経験を重ねることで成長したいと思っています。実際、西宮市長が出席

ます。サクラナビの取材では企業の奥深くまで見ることができ、売上げや給与などの数字だけでなく、働く人や社内の雰囲気などが伝わるような記事を作り掲載していきたいですね。また大学卒業後は、40年以上にわたる何かの仕事に携わることになりますから、ワクワクするような楽しさは絶対に必要。私を含む大学生が、そのような企業を発見できる一助になればと考えています。当面の目標は大経大を首席で卒業すること。そして総合的な体験ができるような中小企業に就職し、将来の起業をめざしていきたいと思っています。

商品販売で学んだこと

セサリーを販売しました。レンタルスペースの一面が空いており、無料で使われないかという提案をいただいたことがきっかけです。

商品としてハンドメイド・アクセサリを選んだのは、大学1年の時から

販売し、売れ行きは上々でした。また、商品を際立たせるための店内レイアウトや集客のための動線づくりに工夫を重ね、お客さんの楽しそうな顔が見られたことが嬉しかったです。ただし利益計算という部分では、



独学でオーダープレスを制作し、母の人脈を通じて販売していたからです。オーダープレスを対する需

要や私の作品に対する客観的な評価も知りたいと思いました。一個1000〜3000円で

事前に販売士の資格なども取得していましたが、知識と実践は違うことを痛感しました。また、企業の担当者・友人・家族など、小さなイベントにも多くの人の関わりが必要なのとも知りました。

卒業後は中小企業の復興支援や、創業のサポート、承継者対策などの仕事に携わりたいと考えています。祖父や父が自営業を営んでいるので、資金繰りの大変さも知っています。今回の経験を活かしながら、親身になって中小企業の声に耳を傾け支援していけたらと思います。

地域猫を知ろう

「地域猫活動」で養われる 社会福祉貢献の意識



経済学部・本村光江ゼミの3年生14名が「地域猫を知ろう」のテーマで、大樟祭開催中の10月29日(土)、30日(日)の2日間、J館1階でパネル展示会を行った。これは本学周辺でも起きている野良猫の問題や、地域猫活動、大阪市の助成事業などに関して調査し報告したもの。

本村教授は「現在、野良猫に対するエサやりや糞尿被害で住民間に争いが起きている地域が多く、野良猫に避妊・去勢手術を行い、地域住民が管理していく地域猫活動について考えてほしい」と活動の狙いを語る。

今回の調査により、「もともと動物が好きだったが、社会におけるペットなどの問題を知り、知識が広がった。卒業後の社会貢献につなげたい」とゼミ

リーダーの栗本浩輔さん。また展示会の準備を率いた山本鳳凰(シンホウ)さんは「地域猫活動について根本から勉強し理解するのが大変だった」と振り返りながら、「リーダー的な立場を経験できて、プロジェクトにおけるお互いの情報交換の必要性を実感できた」と自らの成長を語る。

本村教授は最後に、「動物福祉を考えることで、ゼミ生には、相手の立場を思いやるなど人間社会の弱者への視点も培ってほしい」と期待を示した。





写真部



茶道部



藤本彩花さん
(経営学部3年生)

私が写真部に入ったきっかけは、写真部の撮影会に参加して楽しそうだなと思ったからです。2年生の冬から部長を務めています。いろいろな人とのつながりができて友だちが増えました。また、以前は自分のことで精一杯でしたが、リーダーを経験したことで全体を見渡せるようになったと思います。

写真部では現在、1、4年生の64名が活動しています。年に数回春夏秋冬撮影会に出かけ、大樟祭を含む学内2回と学外2回の展示会を行っています。秋の学内展示(大樟祭)では毎年、「永遠と一瞬」「人と自然」などの対比するテーマを設定。今年は「濃と淡」を表現

学内外で積極的に活動!

する作品に取り組みました。展示会には、部員は1人3作品(上限10作品)を提出して無記名投票を行い、上位になった作品を公開しています。今回の展示はカラー写真のみでしたが、写真部の伝統としてモノクロのフィルム写真も撮り続けています。



茶道部(豊千家の部員は現在、男子24名・女子28名の計52名。学内行事としては、新入生歓迎や大樟祭の野点、教育懇談会での保護者を対象とした点出し、学外行事としては、大隅西小学校・ふれあい祭で小学生を対象とした点出し、芸術会学生や一般市民を対象とし

た西宮・広田山荘(廣田神社での秋季単独茶会を開催しています。この広田山荘での茶会は、4年生部員にとっては茶道生活の集大成となる行事です。茶道部という、硬いイメージを持たれるようですが、毎週月曜・水曜の練習も、常に楽しく和



濱部翔さん
(情報社会学部3年生)

やかな雰囲気です。実施しており、ラーメンツアーなど部活以外の遊びの行事も豊富です。女子部員も多いので、茶道に興味のある人は気軽に見学に来てほしいですね。2年生の12月から部長を務めています。人と接する機会が増えたことでコミュニケーション能力が向上しました。この経験は就職活動でも大いに役立つと思います。

教職 KAWARABAN



「生徒と共に育つ」を信念に、笑顔でクラスをまとめる

中学校教諭：土井健太郎さん(人間科学部[80回卒])

人間科学部から初めて中学「社会」の教員となった。現在堺市立浜寺南中学校で1年生のクラスを担当。ソフトテニス部の顧問としても活躍している。学生時代の経験を生かし、全力で子どもたちの教育に取り組んでいる土井先生の日常を紹介しよう。

●アイデアあふれる授業

11月10日(木)。この日の2時間目は、クラス担任を務める1年4組での歴史の授業だ。始業のチャイムとともに、土井先生は大きな張りのある声で生徒たちとあいさつする。その後、おもむろに袋から何やら取り出すと、一人の男子生徒を呼んで「ちょんまげのカツラ」をかぶせた。生徒たちが不思議がっている間に、今日の授業のテーマである「武士の登場」という文字を黒板に大きく書く。時代劇のカツラで、サムライ・武士を連想させる奇抜な導入で、生徒の心を授業に引き込んでいた。

手作りのプリントにも、工夫が凝らされていた。歴史用語を空欄に記入するだけでは終わらない。「なぜ平安時代に武士が登場し、勢力を伸ばしていったのか」、生徒たちは当時の絵巻物を見ながら、先生のアドバイスをヒントに、自分なりに考え、わかったことを記入していく。さらに、班に分かれて歴史の出来事について意見を交換するグループワークにも挑戦。

生徒たちから出た意見には、良ければほめるだけでなく、見当はずれであっても温かいコメントを返すなど、常にコミュニケーションを忘れず、クラスをどのように盛り上げるかを考えている。言葉をかけ、さまざまな作業を進め、集中が途切れることがない。「共に育つ＝共育(きょういく)」のあるべき姿が見られ、実にフレンドリーな授業だった。

●教員試験合格はスタート台

授業終了後、土井さんに本学在学中の思い出を語ってもらった。教職サーク

ル「教師のたまご」に2年生から参加し、友人たちと何度も面接の練習をして、どんな先生になりたいかのイメージを固めていったという。また、自治体のスクールサポーターとなって、多くの中学生や教員と交流をもった。「当時、現役の先生からいいところをたくさん盗みました」と笑う。また、堺市主催の「堺・教師ゆめ塾」にも参加。同じ堺市で教員をめざす学生たち、現役の先生、さらに各方面で活躍している方々と交流を深め、視野を広げていった。ゆめ塾で出会った人々との絆は、今も続いている。

ソフトテニス部の顧問としては、目標を達成する喜びを味わってもらいたいと思っている。生徒の自主性を尊重しつつ、人格を形成する場としての課外活動の重要性を認識し、時には厳しい言葉もかける。

最後に教師をめざす後輩へのメッセ

ージをもらった。「採用試験の合格がゴールじゃない。そこからスタート。それまでに、机の上の勉強だけでなく、さまざまなところに飛び込んで経験を重ねてほしいですね」。インタビューの最後まで、明るくバワフルな笑顔で応えてくれた。



2016年度 教員採用試験結果合格者			2016.12.1現在	
卒業年月	学部学科	氏名	採用自治体	教科
2017年3月卒業予定	経済学部経済学科	真木健寿	堺市	小学校
2017年3月卒業予定	経営学部第1部経営学科	辻井沙弥	東京都	小学校
2016年3月	人間科学部人間科学科	宮城倫久	堺市	小学校
2015年3月	人間科学部人間科学科	志水啓起	大阪府	小学校
2015年3月	人間科学部人間科学科	松並将平	大阪府	小学校
2015年3月	人間科学部人間科学科	花村裕介	大阪府/高校	保健体育
2014年3月	人間科学部人間科学科	富田達也	大阪府/高校	保健体育
2014年3月	人間科学部人間科学科	井野翔太	神戸市	小学校
2013年3月	経営学部第1部経営学科	木村誠	奈良県	特別支援
2013年3月	経営学部第2部経営学科	西内沙織	大阪府/高校	商業
2013年3月	人間科学部人間科学科	平山篤	大阪府/高校	保健体育
2012年3月	人間科学部人間科学科	出口琴枝	京都府	小学校
2011年3月	人間科学部人間科学科	新井健太郎	大阪府/高校	保健体育
2009年3月	経済学部経済学科	山本一郎	大阪府/中学校	国語
2008年3月	経済学部地域政策学科	三根佳祐	大阪府/高校	地理歴史公民

※大学に報告のあった方のみ掲載



勝利のために

する1区に絶対的エースの高橋(4年)が出走。中間地点まで先頭集団でレースを進めていたが、急激なペースアップによって集団が分かれ、そして後半は少し力みが出てしまい、結果21位で2区の藤山(3年)へ中継。藤山は落ち着いた走りで前と

位を上げることができず、5区の塚本(2年)へ。制限時間に間に合わず、当初の目標としていた「櫂を最後まで繋ぐ」という目標はこたえついてしまった。塚本は気持ちを切り替えて走り、粘りの走りで順位をキープし6

た。

今大会では思うようなレースができず20位だったが、8区間中4年生は2名と、若いチーム構成となっており、今回得た経験を活かされれば、今後のレースに期待がもてる。そして「櫂を最後まで繋ぐ・打倒関東勢」という目標を伊勢路に残したままなので、次年度こそ借りを返すため、伊勢路に戻り、大暴れしたい。



関西秋季リーグで、
最高のスタートダッシュを飾る!

10月8日(土)王子スタジアムで行われた第3戦の相手は、同じく連勝で波に乗る京都工芸繊維大学「クーガーズ」。実力は伯仲、選手・コーチ陣ともに2部昇格に向けて負けられない戦いと意気込んで臨んだ。



序盤はクーガードの力強い攻撃に苦しめられる。第1クォーター早々に先制を許すと、「パワープレーにやられた」「戸惑った」と近藤監督、新田主将が振り返ったように、ここから攻守に終始。第2クォーターでは持ち直し開始1分も立たないうちにRB藤本のタッチダウンなどで同点に追いつき、徐々に相手を押し込み始める。ところが、再びクーガードに追加点を許してしまうと、アクシ



いう緊急事態にも関わらず、選手は、近藤監督が「成長が見えた」と目を細めた全責プレーでしっかりとカバー。「コーチ陣の的確な指示のおかげ」という粘り強いディフェンスでリズムをつかむと、第3クォーターには相手キックオフのボ



Touch Down!

VOICE

● **近藤信彰 監督**
 オフェンスは準備していたことがほぼ成功しましたが、守備では立ち上がり相手の力強さを抑えられなかった。このあたりは課題としてありますが、QBの原が抜けた穴気概、チーム一丸となって戦たえを感じています。また、選手と試合の状況を分析する力も向上しており、頼もしく決して強くありません。ですからできませんが、2部昇格、相手チームの胸を借りるつもりで戦っていきます。

● **新田達也 主将(4年生)**
 サイドラインの選手がしっかりと走ってチームを盛り上げてくれたこと、第3クォーター以降のディフェンスで押し返せたことが今日の勝因ではないでしょうか。ただ、僕を含め序盤の戦いぶりなどミスが多かった。反省点ですね。今後主力選手の負傷などアクシデントもあると思いますが、この試合でも、代わってQBを務めた藤本が活躍してくれたように、みんなでカバーしていきます。僕たちボンバーズのスローガンは「挑越」。課題や壁に果敢に挑み、それを越えていくことを合言葉に頑張っています。まだまだ道半ばですが、オフェンス、ディフェンスともに磨きをかけていきます。

全日本大学駅伝
若きチームが大奮闘!



陸上競技部

今後のレースに期待大



区の松原（1年）へ中継。松原はベース配分に戸惑いながらも、1年生から全日本大学駅伝出場という貴重な経験ができた。7区の福島（3年）は最後の上りで苦しかったが粘りを見せアンカーに襷を繋いだ。8区のアンカーの古井（2年）は持ち味の粘り強さを発揮し、好タイムで最長区間を走り切り、最後に順位を上げ大経大の意地を見せつけた。

清瀬杯第48回全日本大学選抜準硬式野球大会

決勝 9/5	近畿大学	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	大阪経済大学	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	4

準硬式野球部

初の
全国制覇達成!

驚異の粘り!
チーム一丸で快進撃!

8年ぶりの3回目の出場を果たした「清瀬杯第48回全日本大学選抜準硬式野球大会」(9月3日~9月5日)が静岡県浜松市で開催された。準硬式野球部はチーム一丸の戦いで劇的な初優勝を飾った。1回戦は関東地区代表の神奈川大学。この試合は吹奏楽総部とチアリーダー部が応援に駆けつけ、熱い応援の後押しを背に試合が始まった。試合は

両先発投手が持ち味を十分に発揮し、息詰まった投手戦となった。試合が動いたのは五回。四球で出塁したランナーをきつちりと送り、死2塁のチャンスを迎える。このチャンスに中野がセンター前に値千金の先制タイムリーを放ち均衡を破る。この虎の子の1点を先発石田が守りきり、1-0の完封勝利で1回戦を突破した。

準々決勝は北信越地区代表の富山大学。この試合も両先発投手が粘りの投球を見せ、膠着状態のまま試合は七回を迎える。相手の先頭打者をエラーで出塁させると、1死二塁のピンチとなり、続く打者にタイムリーを打たれ先制を許してしまう。更に追加点を奪われ、2点ビハインドで最終回の攻撃となる。最終回、打球と内野安打でチャンスを作るも後続が倒れ、いよいよ崖っぷちに追い込まれ、万事休すかと思われた。途中出場の八城が起死回生の2点タイムリーヒットを放ち、土壇場

で試合を振り出しに戻し、準決勝は関東地区代表の立教大学。立教大学は言わずと知れた強豪校で、この試合も苦戦が予想されたが、初回に八城が先制のツーランホームランを放ち幸先の良いスタートを切る。このまま勢いが過密なため、ダブルヘッダーとなっており、少なかったが、4番で捕手、チームの要である岩崎が

決勝の戦いが始まった。準決勝は関東地区代表の立教大学。立教大学は言わずと知れた強豪校で、この試合も苦戦が予想されたが、初回に八城が先制のツーランホームランを放ち幸先の良いスタートを切る。このまま勢いが過密なため、ダブルヘッダーとなっており、少なかったが、4番で捕手、チームの要である岩崎が



岩崎 君

好敵手にリベンジ!
全国の頂点に立つ!

決勝は同じ関西地区代表で、同じリーグで凌ぎを削っているライバル近畿大学。前後からの雨で開催が危ぶまれたが、試合開始時間を遅らせて決勝戦の幕が開いた。試合は取られては追いつき、勝ち越しては追いつかれ、一進一退のしびれた展開となる。2-2で迎えた七回、今大会当たっている郵松のホームランで3-2と勝ち越し、この

まま最終回を迎える。先頭打者を四球で出塁させるが、確実なアウトを重ね、最後の打者を内野ゴロに打ち取り優勝と思った瞬間、送球エラーとなつて追いつかれてしまう。九回では決着がつかず、今大会2度目の延長戦に突入する。迎えた延長十二回、この回から「一死満塁」からスタートのタイブレーク制となる。得点の可能性が格段に上がるうへ、相手は一番からの好打順であったが、見事



VOICE

●杉浦 裕馬 主将(4年生)

「全国制覇」。ここまでくると様々な苦労がありました。昨秋には優勝できたリーグ戦も今春では2位に終わり、全日本選手権をかけたブロック戦では後少のところで近畿大学に負けてしまいました。しかし、最後にこの清瀬杯でチーム一丸となり、決勝戦では一度負けた近畿大学にリベンジすることができた結果、優勝することができました。最後にチームメイトに日本一の主将にならせてもらい嬉しい気持ちでいっぱい。これまで支えて頂いたたくさんの方やチームメイトには感謝と御礼の言葉を伝えたいです。ありがとうございました。

●山本 航 主務(4年生)

清瀬杯で優勝することができて、本当に嬉しいです。今大会を通じて一戦ごとにチームがまとまり、強くなるのを感じました。そのような中で野球ができて、また優勝することができて、とても幸せです。最高の仲間と最後まで楽しく野球ができて本当に良かったです。学長を始め学生部の皆様、チアリーダー部、吹奏楽総部、準硬式野球部の1年生、保護者の方々、素晴らしい演奏と応援ありがとうございました。皆様の応援のおかげで力をもらい優勝することができました。本当にありがとうございました。

長く開かれなかった扉をついにこじ開ける瞬間が訪れた。2016年11月12日。関西学生サッカーリーグにおいて、1993年春季リーグ以来の1部復帰を決めた。引き分け以上で自動昇格が決まる最終節。相手は勝利しか残された道はない大阪産業大学。意地と意地がぶつかり合う激しい試合が始まった。前半は一進一退で進む。序盤GK宮内のファインセ



※皆様からの大経大サッカー部への応援・激励を待ち受けております。なお、クラブに対する寄付金などの詳細(手続・免税措置等)につきましては総務課までお問い合わせください。



1部も飛び出す中、迎えた前半23分左サイド斜め45度からMF松井のミドルシュートを揺らぶる部員・マネージャー・OBの大声援が、かき消しピッチ上の選手が力に変える。激しい球際で全員が体を張り、気迫でゴールを割らせない。そしてそのまま迎えた歓喜の瞬間。

2015年の夏は34年ぶりの総理大臣杯出場、その結果である。1993年から続く関西学生サッカーリーグにおいて2度の優勝を誇る「名門」経大サッカー部が、2017年、新たな歴史とともに再び最高峰の舞台で躍動する。

悲願の1部復帰

24年ぶりの
歓喜にわく

サッカー部